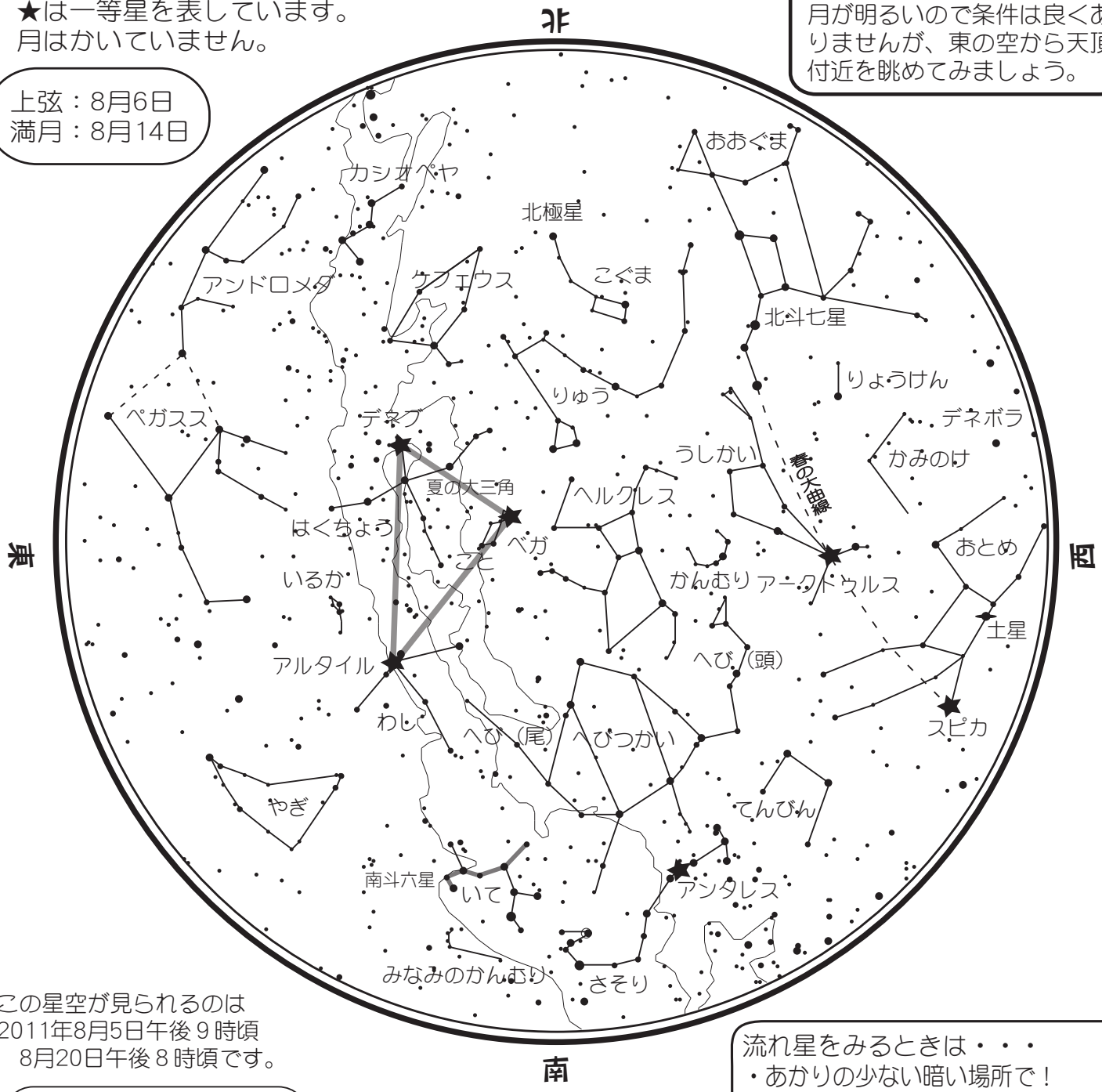


★ 姫路で見る8月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆ペルセウス座流星群☆
8月13日に極大
月が明るいので条件は良くありませんが、東の空から天頂付近を眺めてみましょう。

上弦：8月6日
満月：8月14日



この星空が見られるのは
2011年8月5日午後9時頃
8月20日午後8時頃です。

2011 SUMMER

流れ星をみるときは・・・
・あかりの少ない暗い場所で！
・寝ころがって空全体を眺めてみよう
・防寒対策&虫除け対策を忘れずに！

毎日暑い日が続くこの頃、星空では春の星座が西に傾き、夏の星座が見ごろをむかえます。南から東の空には夏の星座が見えます。こと座の一等星ベガはおりひめ星、わし座の一等星アルタイルはひこ星です。2つの星とはくちょう座の一等星デネブを結んでできるのが「夏の大三角」です。夏の大三角の中を天の川が流れています。天の川を南へとたどっていくと、さそり座にたどり着きます。S字のカーブと赤い一等星アンタレスが目じるしです。さそり座の東隣りにはいて座が見えます。六つの星が北斗七星のような形に並んだ部分は、「南斗六星」と呼ばれています。さそり座といて座の間にはへびをつかんだ大男、へびつかい座が見えます。その上、天頂高く輝くのはヘルクレス座。アルファベットのHの形が目じるしです。8月13日にはペルセウス座流星群が極大をむかえます。ただ、今年は月が明るいので暗い流星は見えにくいでしょう。数は多いので、明るい流星が見えるといいですね。